

農林水産省登録 第 23698 号

テントップ

(ナミテントウ剤)



基本データ

有効成分：ナミテントウ2および3齢幼虫（50頭入り/150mlボトル）
ナミテントウ2および3齢幼虫（100頭入り/300mlボトル）
ナミテントウ2および3齢幼虫（200頭入り/600mlボトル）

学名：Harmonia axyridis（Pallas）

性状：淡褐色細片および黒色幼虫

その他成分：植物片

包装：150ml クラフト紙缶、300ml クラフト紙缶
600ml クラフト紙缶

特長

- 本剤は、アブラムシ類の捕食性天敵であるナミテントウ2および3齢幼虫を封入した捕食性昆虫製剤です。
- アブラムシ類の発生初期に使用することで、長期間に渡りその発生を抑制します。
- 捕食性天敵なので、害虫の薬剤抵抗性の発達の有無に全く関係なく、効果があります。
- 本剤のナミテントウ幼虫は、成虫になっても飛翔不能で遠くに移動することができないため、多くの野菜類で高い防除効果が期待できます。
- 放飼方法が簡便であり、労力の削減につながります。
- 使用回数に制限がなく、農薬の使用回数にカウントされませんので、特別栽培などに最適です。

適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用 病害虫名	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	ナミテントウ を含む農薬の 総使用回数
野菜類 （施設栽培）	アブラムシ類	10～13頭/m ²	発生初期	—	放飼	—

放飼方法

* 放飼を行う前の注意点

- 殺虫剤及び一部の殺菌剤には、本製品天敵に強く影響があるものがありますので、放飼を行う前に本天敵への影響日数等確認を行って下さい。
- 放飼を行う際は、本剤容器内に天敵が偏在していることがあります。容器を横にしてゆっくり回転させて、容器内の天敵を均一にして下さい。

* 放飼を行う際は

- 容器内の天敵を均一にした後、アブラムシ発生場所付近の作物に、内容物を作物上に落としていく感覚で放飼して下さい。

導入のタイミング

- アブラムシ類の発生場所を確認した後に導入して下さい。
- コレトップ導入後ヒゲナガアブラムシ等が発生した場合、導入して下さい。

使用上の注意事項

- 本剤はアブラムシ類を捕食する天敵ナミテントウ2および3齢幼虫を封入した製剤です。
- 入手後直ちに使用し、使い切して下さい。
- 容器中でナミテントウ幼虫が偏在していることがあるので、使用の際は容器を横にしてゆっくり回転させて均一に混和させた後に、葉上へ少量に分けて圃場全面に放飼して下さい。
- アブラムシ類の生息密度が高くなってからの放飼では十分な効果が得られないことがあるので、アブラムシ類が散見された時点で最初の放飼をして下さい。
- 天敵としてナミテントウが有効な密度を保つため、アブラムシ類の発生初期より約1週間間隔で数回放飼して下さい。
- 本剤の使用中は、日中の施設内の平均室温を20～30℃に保って下さい。
- ナミテントウの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、本剤の放飼前後の薬剤散布は避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けて下さい。
- 容器、空袋等は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理して下さい。

貯蔵上の注意

- 本剤は天敵生物であり、容器内での生存日数が短いので、入手後直ちに使用し、保存しないで下さい。